

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
国語	論理国語	2	3	必	特進
科目の目標	進学や実社会に向けて必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書	「精選論理国語」 数研出版	副教材 等			

1. 学習の到達目標

大学進学や実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、創造的に考える力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。また進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)、Y(思考・判断・表現)、Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
小説 「こころ」 夏目漱石	12	4・5	夏目漱石の小説に触れ、人間の心理の微妙な変化や揺れ、そのすれ違いから生み出される様々な人間関係について考える。	○	○	○
二章 異文化と普遍 「文化が違う」とは何を意味するのか？	6	6	文化相対主義とは何か。偏狭なナショナリズム、大国の権威主義などともあわせて、真の異文化理解とはどのようなことであるのか、具体的な例を挙げて考える。	○	○	○
情報と知性 人と共にある図書館の未来は明るい 図書館と「ものがたり」	8	7	二つの文章を読み、図書館の在り方について自分の考えをまとめる。	○	○	○
環境と人間 意志と選択	6	7・8	「意志」を「概念」として意識する。「意志」と「選択」の違いを理解し、あらゆる行為が「選択」であるという筆者の指摘を理解する。	○	○	○
思索の深化 顔の所有	6	9	顔は誰のものか。「顔を所有する」とした場合の論理的帰結を理解する。	○	○	○
思索の深化 無常ということ	6	10	無常という概念を筆者はどう考察するのか、文意を丹念にたどっていく。	○	○	○
考えの表出 人はなぜ働かなくてはならないのか	6	11	人にとって労働とは何か。労働の意義と、人間の社会的存在意義を合わせて考察し、将来働くものとなるであろう自己の存在意義についても考察する。	○	○	○
探求の扉 資料と文章の比べ読み 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」 「希望を語る」	6	12	内閣府のデータ資料と、学者の文章とを読み比べる。読み取れる内容、読み取れない内容を区別する。	○	○	○

学習内容	時 数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
情報と知性 メディアのテロル	6	1	新聞・テレビ・インターネットという各種メディアについて、その特性や使い方について考察し、有効活用について考える。	○	○	○
まとめ	2	2	1年間を振り返り、授業評価・自己反省をまとめる。	○	○	○